

平成24年度 指導改善プラン

千代田区立麴町小学校

1 達成度調査及び児童の学習状況から見た成果と課題(4・5・6年) ○:成果 ◆:課題

	4年	5年	6年
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話す力・聞く力に関する問題については、約95%の児童が正答していて、到達度が高い。 ◆ 文学的文章における登場人物の心情の読み取りの達成率が60%と低い傾向にある。 ◆ 書く力に関する問題の達成率が約45%と低く、応用力がやや不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話す力・聞く力に関する問題については、約94%の児童が正答していて、到達度が高い。 ◆ 説明文の要旨の理解や文学的文章の主題の理解など、理解力が低い傾向にある。文章の構成を理解したり、心情を読み取る力が足りず、表面的な内容の理解しかできていない傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5年時と比較して、説明的文章の読み取りの到達度が高くなった。 ○ 話す力・聞く力が区平均に比べ正答率が高い。 ◆ 言語についての知識・理解が不十分である。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的に到達度が高く、よく理解できている。特に思考・判断や知識・理解に関する達成率は約90%あり、優れている。 ◆ 観察・資料活用の技能においては、達成率が約75%と低い傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的に到達度が高く、よく理解できている。社会的な思考・判断・表現の力は特に高い。 ◆ 資料を活用する力で到達度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料活用の技能を問う設問で到達度が高い。 ○ 基礎的事項についての理解は全体的に概ね良好な結果である。特に公民的内容の達成度が高い。 ◆ 発展的な資料活用能力を問う設問で到達度が低い。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的に到達度が高く、よく理解できている。特に計算領域では、達成率が95%を超えるなどよく定着している。 ◆ 時間と時刻の理解に関する達成率が70%と他項目に比べて、やや低い傾向にある。 ◆ 理由を考えたり、考え方を比べたりすることを苦手とする児童に対して、特に対策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほとんどの項目において、概ね良好な結果である。特に、図形の領域では到達度が高い。 ◆ 量と測定の単元においては他の領域と比較すると到達度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他教科と比較すると、全体的な達成率が最も高い。特に基礎的な項目においての達成率が高く、概ね期待通りの学力を身に付けている。 ◆ 「単位量あたりの大きさ」の単元においては、他の項目と比較し、極端に達成率が低い。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的に到達度が高く、よく理解できている。 ◆ 応用的な問題に対する達成率が、他の項目に比べると約30ポイント近く低い。学んだことを生かす力を付けることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目標値と比較すると達成率は概ね良好である。 ◆ 他教科と比較すると、達成率が最も低い。特に活用する力に課題があり、習得したことを次に生かす力をつけることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的事項において達成度が高く、とりわけ「物の溶け方」「動物の誕生」の単元に関する設問における正答率が高い。 ◆ 相対的に科学的な思考・表現の観点において達成率が低い。

2 調査以外の教科についての成果と課題(4・5・6年)

体育…日常の体育の様子から、全学年において運動の基礎となる体力、特に「力強さ・巧みさ・持久力」の3点を重点的に育成していく必要がある。

総合…自ら課題を見つけ、主体的に活動に取り組む力を伸ばすことができた。今後もそれぞれの学年に適した年間指導計画を考えていくことが大切である。

3 調査以外の学年の成果と課題及び改善の取り組み(1・2・3年) ○:成果 ◆:課題、改善の取り組み

	1 年	2 年	3 年
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ ひらがなの練習に継続的に取り組んだ。五十音表から言葉を見つけて、しりとりや言葉集めを楽しんだりすることで、ひらがなを正しく書くことができるようになった。 ○ 音読カードを活用し、家庭学習でも音読に力を入れて取り組んだ。語や文としてのまとまりや、文章のリズムに注意しながら読むことができるようになった。 ◆ 拗音、促音の正しい表記と、助詞の「は」「を」「へ」を文の中で正しく使えるように、繰り返し練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物語文への関心が高く、話の続き文を考えたり、動作化を取り入れたりしたことで登場人物の気持ちを深く読み取ることができるようになった。 ○ 毎日日記を書いたことで、作文を書いたり、話を書いたりする力がついてきた。 ◆ 漢字を正確に書くことが十分でない。漢字練習等を繰り返し指導し、2年生として押さえるべき漢字を確実に定着させる。 ◆ 発表の声小さい児童がいる。聞き手を意識した発表の仕方の指導に力を入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音読や読書に意欲的に取り組んだり、文章をきちんと読み取ったりしながら、内容を理解することができた。 ○ グループでの話し合い活動で、お互いの考えを伝え合うことができた。 ◆ 漢字を正確に書く力が十分とは言えない。小テスト等で繰り返し指導・徹底していく。 ◆ 自分の考えを文章で表現することが苦手なので、短文を書く機会を増やして慣れさせる。
社会	/	/	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学区の探検や区内巡りを通して、地図を活用しながら方位や土地の様子について理解することができた。 ◆ 調べたことをまとめたり、調べたことから考えを深めたりする経験が足りないので、そのことを踏まえた指導を工夫する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体物を数えたり算数ブロックを操作したりする活動を繰り返し行うことにより、たし算やひき算の意味を理解することができた。 ○ 計算カードを活用することにより、10までのたし算、ひき算が正確に計算できるようになった。 ◆ 式をもとに場面を表す問題を作る力が不十分である。「式を読む」活動を随時取り入れ、加法や減法の意味理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日々の計算練習により、繰り上がりのあるたし算や繰り下がりのあるひき算をほとんどの児童ができるようになった。筆算の仕方を分かりやすく説明することができ、思考力が身に付いてきている。 ◆ 長さ、水のかさ等の量感が身に付いていない児童がいるので、具体的な操作活動を多く取り入れ定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ かけ算やわり算などの計算については、ほとんどの児童が正しく処理できている。 ○ 友達の考え方を聞いて、いろいろな解決方法があることを知って、思考力を深めることができた。 ◆ 時間を計算することや円を正しく描くことが不十分な児童がいるので、個別指導の充実を図る。
理科	/	/	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察カードを丁寧に仕上げたり、実験に楽しく取り組んだりして意欲的に活動する中で、理解を深めることができた。 ◆ 学習して理解したことから課題を見つけることが不十分な児童がいるので、主体的に課題を見つける指導を工夫する。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一鉢のアサガオを育てることにより、植物の成長の様子に関心を持ち、大切に育てることができた。 ○ 具体的な活動や体験で気付いたことを、言葉、絵、動作、劇化等で表すことにより、子供の「伝えたい」思いを広げていくことができた。 ◆ 四季の変化を感じられるように、身近な自然を継続的に観察する活動を多く取り入れる。 ◆ 身近な人々とかかわり合う活動や体験の場を多く設定し、児童の気付きを促すことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一鉢のミニトマト以外の野菜を育てることにも興味をもち、継続的に観察することができた。他の植物や、生き物も意欲的に見つけお世話をし、一人一人が実感を伴いながら自然探究していた。 ◆ 児童の主体的な活動へ導くために、常に児童の思いに寄り添った学習計画を考える。 	/

4 改善の方針

- ◎ 習熟度別学習、T T指導、教科担任制による授業等の充実を図り、児童一人一人が確かな学力を身に付けられるような授業を展開する。
- ◎ 児童自ら問題解決できるような授業の充実を図る。
- ◎ 体験活動を充実し、児童一人一人が実感を伴った理解を得られるように指導法を工夫する。
- ◎ 学習の中で児童が達成感や充実感を味わえるような支援を工夫し、学ぶ意欲の向上を図る。

5 学校としての改善の取り組み(4・5・6年)

	4年	5年	6年
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の気持ちを読み取る時間を十分確保する。 ・ 書く力を高めるために、文章を書く機会を増やす。文学教材の視写や児童が書きやすい題材を取り上げた文章作りに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材に適した指導事項を精選する。説明文・物語文共に習得すべき力を明確にし、指導の充実を図る。 ・ 要旨にする力・主題に迫る力を身に付けるために、文章の構成を理解し段落を要約する指導の充実を図る。また、情景描写・登場人物の言動から心情を詳しく読み取る学習を充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出漢字の学習において、部首や成り立ちの指導から丁寧に取り組む。 ・ 語彙力を身に付けるため、わからない言葉を辞書で調べるだけでなく、適宜活用するよう指導する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決の時間を確保する。その中で、図やグラフなどから得られる情報をもとに自分の力でまとめられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフやデータから得られる情報をもとに自分の考えをまとめる場面の充実を図る。 ・ 自分の考えを共有する場面を取り入れ自他の考えを比較し、多面的に考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフやデータから得られる情報をもとに、社会的事象についての自分の考えを述べる活動を重視する。 ・ 授業において新聞等を活用し、時事問題に興味・関心をもてるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時刻や時間を意識させた学校生活を行わせる。 ・ 少人数指導による習熟度に合った指導を行い、児童の関心・意欲を高める。じっくりと問題を解く時間を確保し、考えに自信をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 抽象的な概念を具体的に思考できるように数直線や図に表し、視覚的に整理する活動を重視する。 ・ 練習問題を適宜取り入れ、理解の深まりを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章で表された数量関係を、数直線や図に整理してから式に表す活動を重視する。 ・ 習熟の遅い児童については、関連する既習事項の想起を促す個別指導をする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学んだ事を生かす体験や生かしている事例を学習の中で取り上げる。 ・ 観察・実験結果を受けての考察の時間を十分確保し、関係付けて考える力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決型学習の充実を図り、興味・関心を高めるために、指導計画を工夫し、必然的・自発的な学習になるよう工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主的な問題解決を促す指導計画を工夫し、内発的な動機と目的意識をもって実験・観察に取り組めるよう指導していく。 ・ ノート指導を徹底し、特に「考察」の表現を重視する。

6 教員の改善の取り組み

- 年間指導計画、評価計画に基づき意図的・計画的に指導を行い、授業の充実を図る。
- 個に応じた指導を行うために、習熟度別少人数指導やT T指導、教科担任制による授業を計画的に行い、児童一人一人に確かな学力が身に付くように指導法を工夫する。
- 校内研究に関連して、理科・生活科においては、実感を伴った理解を得させたり、気づきの質を高めたりして生き生きと楽しく学べるような授業を展開できるように指導法を工夫する。

7 検証方法

- 学期末には、各教科の単元ごとの達成度を調査し、児童の学習状況を把握し、学習の成果を考察する。
- 理科・生活科においては、実態調査を実施し、学習の成果を考察する。
- 児童のノート・ワークシートの記録から児童一人一人の学習状況を把握し、学習の成果を考察する。